

世界の運転中原子力発電所の運転期間別基数
(2021年1月1日現在)

2021年1月12日
日本原子力産業協会

国・地域	0～10年	10～20年	20～30年	30～40年	40～50年	50～60年	合計	世界比率
米国	1		2	45	42	4	94	22.1%
フランス		2	7	38	9		56	12.8%
中国	35	10	3				48	11.0%
日本		5	13	11	4		33	7.5%
ロシア	9	3	1	15	9		37	8.4%
韓国	6	4	7	7			24	5.5%
カナダ			3	10	6		19	4.3%
ウクライナ		2	1	12			15	3.4%
英国			1	10	4		15	3.4%
ドイツ				6			6	1.4%
スウェーデン				5	2		7	1.6%
スペイン				7			7	1.6%
インド	3	5	7	4	1	2	22	5.0%
ベルギー				4	3		7	1.6%
チェコ		2		4			6	1.4%
台湾				4			4	0.9%
スイス				1	2	1	4	0.9%
フィンランド				2	2		4	0.9%
ブルガリア			1	1			2	0.5%
ハンガリー				4			4	0.9%
ブラジル		1		1			2	0.5%
スロバキア			2	2			4	0.9%
南アフリカ				2			2	0.5%
アルゼンチン	1			1	1		3	0.7%
メキシコ			1	1			2	0.5%
パキスタン	3		1		1		5	1.1%
ルーマニア		1	1				2	0.5%
イラン	1						1	0.2%
スロベニア				1			1	0.2%
オランダ					1		1	0.2%
アルメニア					1		1	0.2%
計	59	35	51	198	88	7	438	100%
比率	13.5%	8.0%	11.6%	45.2%	20.1%	1.6%	100%	
運転年数	0～10年	10～20年	20～30年	30～40年	40～50年	50～60年	合計	

(注) 「原産協会・世界の原子力発電開発の動向2020」、IAEA・PRIS、WNA “Information Library”などを参考に作成

- ・国名は運転中原子力発電所の設備容量の順に並んでいる。
- ・運転期間は、営業運転開始から2021年1月1日迄の期間。
- ・表中の運転期間について、例えば「10～20年」は10年以上20年未満を意味する。
- ・上表は、過去10年スパン毎の営業運転開始基数を示しているとも言える。但し、運転期間が長くなるにつれ、一部の原子炉が途中で閉鎖しているため、基数は少なくなっている。
- ・2020年に送電開始したロシア、中国、UAE、ベラルーシの各1基(計4基)は、2021年1月1日現在営業運転入りしていないので、上表のデータには含まれていない